

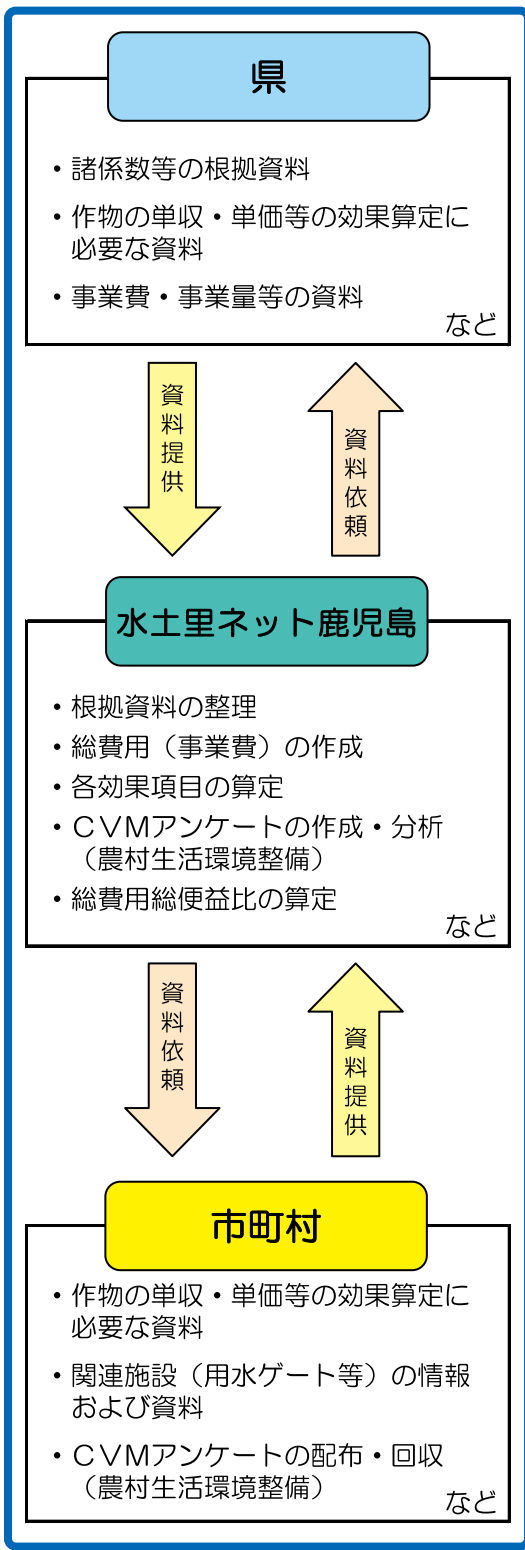
# 事業計画書作成 を支援します

## 事業化の流れ (標準的なスケジュール)

- 地元からの要望
- 要望内容の把握
- 地域情報の共有・整理
- 事業導入の検討

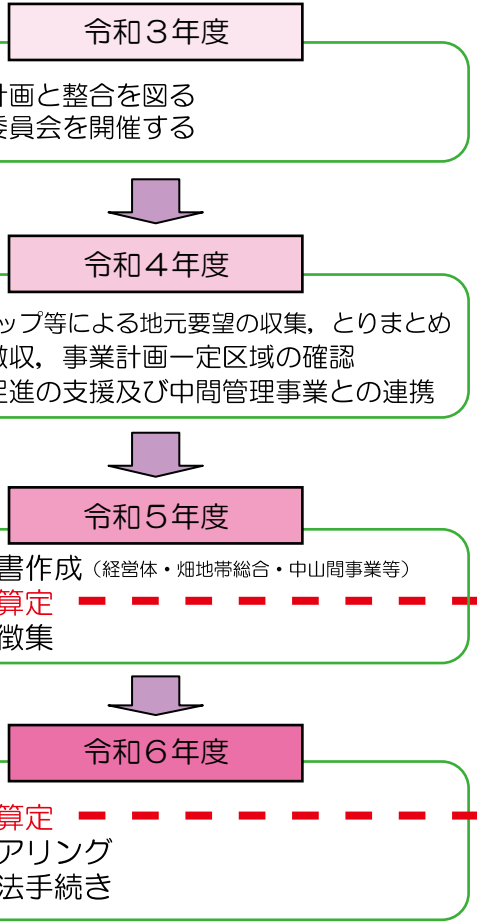
本会独自の地域支援対策事業を活用できます。  
(P3~4)

## 効果算定連携図

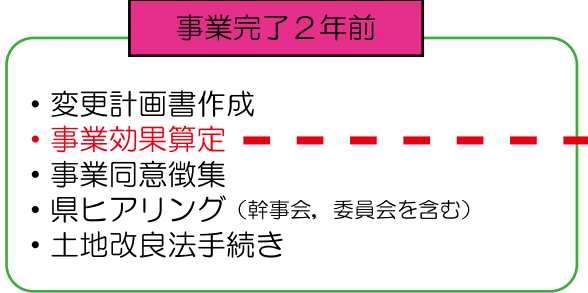


当初計画

計画変更



## 事業採択(令和7年度)



## 事業完了

経済効果算定は、土地改良事業計画の採択申請の必須項目です。当初計画だけではなく、計画変更でも必要になります。

## 効果とは

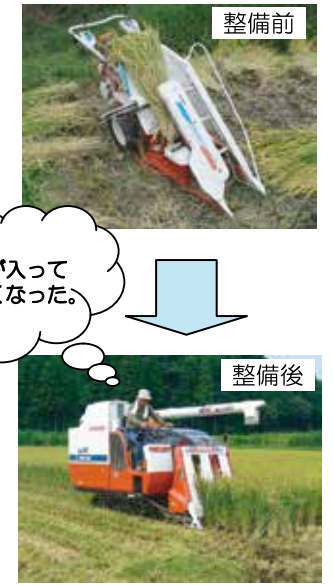
事業実施による農作物の生産量の増加、品質の向上、営農経費の節減、災害被害の軽減といった項目を総合的に評価したものです。

### 〇畑地かんがいによる作物生産効果の算定例

さつまいも(青果用) 作付面積 10haの場合

- 整備前 2,320kg/10a 97円/kg
- 整備後 2,761kg/10a (441kg/10a増収)
- 単収増 純益率 82% (諸係数「その他根菜類」より)

441kg/10a × 10ha × 97円/kg × 82%  
⇒ **年効果額 3,508千円**



湿潤かんがい効果 増収率 19% (鹿児島県実証試験より)

水が来るようになって収量が増えた。収量が増えたから収入も増えた。

大型機械が入って作業が早くなった。

## 水土里ネット鹿児島が行う経済効果算定

- 九州・沖縄各県の水土里ネットで九州協議会を設立し、毎年協議会において効果算定の検討会を開催し、**情報交換や算定手法の統一化**を図っています。
- 計画樹立の初期段階(地域設定、路線選定)時点から、**事業効果を含めたアドバイス**を行います。
- 効果算定を行う専属の部署を設けており、**長年にわたり蓄積された豊富な情報**を基に算定を行います。

お問い合わせは、事業部農村整備課または最寄りの事務所・支部まで